

2022 企画広報委員会 イベント企画分科会 組織/活動報告

組織 計7名 順不同・敬称略

メンバー	氏名	支部	理事/会員	所属
委員長	福永 成明	東日本	理事	ファッションリンクス
分科会長	篠崎 友亮	本部	理事	FashionStudies®主宰
事務長	内海 里香	本部	理事	文化ファッション大学院大学
委員	山岡 真理	本部	会員	文化ファッション大学院大学
委員	山口 大人	本部	理事	MASATOYAMAGUCHI DESIGNOFFICE 代表/デザイナー
委員	平井 秀樹	本部	理事	国際ファッション専門職大学
委員	播岡 充	関西	会員	大阪文化服装学院

活動報告

目標	活性化の一環として、主として学生会員の獲得・会員メリット訴求のためのイベントの企画運営を行う
2022 結果	<p>・夏休み8月に学生アワードを実施 →学生アワードについては、「あなたが提案したいファッションビジネス（ファッションのミライ、DX、サステナブル、産地、サプライチェーン） * “ファッション” の定義/範囲はアパレル（衣料）に限定」をテーマに募集し、申込み総数=472名（84チーム：302名、個人：170名）、企画応募総数=342名（67チーム：254名、個人=88名）と、初回にしてはまずまずの関心を持って頂けたイベントとなった。最終審査に選ばれた10名/チームで、8/6（土）にオンライン zoom ウェビナー形式で最終プレゼンを行い、優勝～3位を決定、残り7チームにも最終審査賞を授与した。</p> <p>ファッションビジネスの未来を担う学生会員の獲得、斬新・ユニークなファッションビジネスの創造を願っての試みであったが、一定の成果はあったと考えている。本イベントに関しては、2023年度よりイベント企画分科会ではなくファッションビジネス学会本部の主催として実行員会組織を立ち上げて、継続実施する。</p> <p>・夏休み8月と冬休み12月の年間計2回、産地研修を実施 →8/23（火）：富士吉田産地、12/26（月）：墨田産地の産地研修を実施。富士吉田については、ファッションが完成するまでの工程すべてを1か所で見学できるということが選定理由となった。また、墨田に関しては、墨田区産業観光部産業振興課のご協力を頂き、墨田区のニット産業の歴史から振興策までのレクチャーも付いた研修となった。一人ではなかなか難しい工場・工程の見学を学会イベントとして行い、会員メリットの訴求を目指していたが、リピーターも少なくなく、参加者同士の情報交換・交流も活発化してきており、予想以上の実績・効果があった。</p>
2023 予定	<p>・夏休み8月と冬休み12月の年間計2回、産地研修を継続して実施予定。 →具体的な研修地は現時点では未定であるが、2023年度は単に工場・工程の見学にとどまらず、研修先企業等とのディスカッションなども盛り込みながら、産地研修の深耕・質の向上にも取り組んでいく。</p>

以上